

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	宗教学					授業形態	講義		
科目コード	111420	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長友 泰潤							ICT活 用	
授業概要	人間社会と宗教・国際関係について考察する。学生が意欲を持って授業に参加できるように、グループ学習を導入する。学生自身が仏教やキリスト教、イスラム教などの諸宗教の歴史や教義、或いは地域社会と仏教寺院・神社・教会との関わりの具体的な事例研究、造園に興味のある学生は仏教寺院の庭園の研究などから、テーマを選び、図書館や情報処理室、Wi-Fiの使える場所において、資料研究を行い、パワーポイントにまとめ、それを発表し、質疑応答と解説を行う。								
関連する科目	倫理学・哲学を受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	グループ学習のシステムを導入し、学生自らが、宗教についてのテーマを選び、図書館やインターネット情報で資料研究、或いは寺院や神社での実地調査を行い、それをパワーポイントにまとめて、発表を行う。その発表について、学生・教員間で質疑応答を行い、終了後の補足説明が必要な場合は教員が行う。								
授業計画 【第1回】	宗教とは何かについてわかりやすく解説し、どのようなテーマがあるかを解説する。								
授業計画 【第2回】	学生がグループを作り、情報処理室や図書館で、宗教の教義や地域社会と宗教の関係について資料調査を行い、パワーポイントによるプレゼンテーションの準備を始める。								
授業計画 【第3回】	資料調査をもとに、話し合いによって、テーマを絞り込み、実地調査やパワーポイントの作成を始める。								
授業計画 【第4回】	それぞれのグループの発表内容や目的が重ならないように調整し、パワーポイントで発表スライドを仕上げていく。								
授業計画 【第5回】	仏教（禅宗・日蓮宗等）について学生が発表し、質疑応答を行う。								
授業計画 【第6回】	仏教（真言宗・浄土真宗等）について発表し、質疑応答を行う。								
授業計画 【第7回】	キリスト教（カトリック）について発表し、質疑応答を行う。								
授業計画 【第8回】	キリスト教（プロテスタント）について発表し、質疑応答を行う。								
授業計画 【第9回】	イスラム教について発表し、質疑応答を行う。								
授業計画 【第10回】	都城市等の寺院について発表し、質疑応答を行う。								
授業計画 【第11回】	都城市等の神社について発表し、質疑応答を行う。								

授業計画【第12回】	カルト教団について発表し、質疑応答を行う。
授業計画【第13回】	アニミズムについて発表し、質疑応答を行う。
授業計画【第14回】	神話や伝説のなかに見られる宗教観について発表し、質疑応答を行う。
授業計画【第15回】	発表内容に基づいて、宗教と人間の関わり、国際関係等について総括する。
授業の到達目標	1. 地域社会と仏教・神道の関わりについて学び、宗教と日本文化、地域社会と寺院や神社との関わりについて理解する。 2. 視野を広げて、国際社会と宗教の関りについて理解を深める。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	1. パワーポイントのスライド作成の準備のため、図書館で資料検索を行い、必要な情報を集める。(60分程度) 2. インターネット情報を活用し、関連する情報・資料を収集し、パワーポイントを作成する。(30分程度) 3. スライド作成を行いつつ、プレゼンテーションの内容を充実させていく。(30分程度)
授業時間外学習【復習】	1. 他のグループが行ったプレゼンテーションを吟味し、その良かった点や問題点について検討する。 2. この検討をもとに、自分たちのプレゼンテーションの中身を高めていく。
課題に対するフィードバック	各グループの発表後、質疑応答に即して、解説を行う。
評価方法・基準	1. プレゼンテーションのスライドの内容・・・・・・・・・・25点 2. プレゼンテーションのやりかた、質疑応答の内容・・・・・・・・・・25点 3. 質疑への参加度(質問回数・答弁回数等)・・・・・・・・・・50点
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。
参考書	必要に応じて資料等を配布する。
備考	